アルケミストの会合宿のようす

2014080405 平野田休養村　上野原駅下車

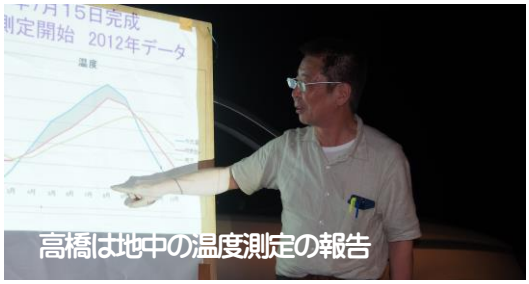
着いてさっそく夕食の準備。準備も楽しそう！

町井さんがすべて、準備をしてくれました。アルケ初のキャンプ合宿、思い出に残るものになりました。竹串でやいたニジマス。竹コップで飲んだお酒。おいしかった。

いつも率先して活動していた吉田さん

外でも、しっかり研究会は行われました。

来週も 50 人の子どもたちとキャンプをするよと話す町井さん



高橋は地中の温度測定の報告

山本さんの発表は難しかった

楽しい朝食の準備

屋外ならではの、岡田さんの実験

楽しい朝食

野中さんの奥さん(中畑玉美さん)のトンボ玉

野中さんのそば打ち

名人芸に見入る

名人芸

おわりの会

大場さんのＤＶＤ

でんでん虫の歌をみんなで歌いながら手品の練習

おわりの会で感想発表

阿部さんの手品

みそ汁をみなさんに

岡田さんの紙コップロケットは大迫力

〔つけたし〕写真は、前ページまでで終えようと思ったのですが、半ページ分残ってしまいましたので、６枚の写真を付け加えました。左まん中は、なんで写した写真だろうと考えたら、阿部さんが手品をやっているときのものだと思い出しました。みなさんの笑顔が、ほんとうに素敵ですね。この様子は、科教協ニュースでも紹介しようかなと思っています。１１月１２月は、私の担当です。原稿依頼とかあるかも知れませんが、そのときはよろしくお願いします。

忘れられない合宿　　山本喜一

今年の合宿は町井さんが長年使っているキャンプ場で行われました。合宿の準備では、町井さんが車１台には乗せきれないほどの荷物を持ってきてくれました。そして、キャンプにふさわしく、しかも、おいしい食事を食べることができました。町井さんには本当に感謝します。

そして、野中さんが打ったそばを味わい、野中さん夫婦のトンボ玉作りの手馴れた技に、参加者一同見とれてしまいました。さらに、お土産にトンボ玉をもらい、思い出に残る一品になりました。

アルケ始まって以来はじめての、屋外でのレポート発表、竹で作ったコップで飲んだお酒など、忘れられない合宿になったのではないかと思います。参加してくれた皆さん、ありがとうございました。

ただ、私は半ズボンをはいていたせいか、右足を７１箇所、左足をちょうど５０箇所虫に刺されていました。皆さんは大丈夫だったでしょうか？

最後になりましたが、この合宿に参加してくれた菅原さん（岩手）と、アルケナイターの後の飲み会に参加してくれた田中さん（愛知）が入会してくれ ました。

新しいメンバーとともに、ますます交流が深まるといいと思っています。

たいしたこともできなかった１年間でしたが、これで私の事務局長を解任させていただきます。

次は高橋さんが事務局長です。

よろしくお願いします。

アルケに感謝しています　野中（中畑）直彦

本当に皆さん、ご苦労様でした。飛騨高山の野中です。何度も言っていますが、今あるのは、アルケの皆さんのお陰です。感謝しています。少し長く長くなりますが、５９歳の愚痴として聞いてください。

アルケに誘ってもらったのは、岩手の高橋さんです。岐阜物理サークルなるものに少し顔をだしていまして、化学の世界で、科教協の世界にいる化け物化している「盛口」なる人を一目みたいと参加したのです。そして、衝撃的な姿を目の当たりにしました。アルケの実験なのかよくわかりませんでしたが、ナイターでみた盛口さんが、汗を雑巾で拭いていたのです。これを、岩手の高橋さんに伝えたことを覚えています。何がすごいのかよくわかりませんが、私には衝撃的なことでした。岐阜の理科の教育で、科教協に参加している人は少なく、科教協で得た実験を岐阜の人に知らせることを伝書鳩のようにしていました。でも、オリジナルティがないことが、どこかひけめ感じていました。そして、大阪の澤田さんのトンボ玉に出会うのです。とんぼ玉も紆余屈曲がありました。現在に至るまで。でも、高橋さんに誘ってもらえなければ、アルケに入ることがなかったし、アルケに入って、澤田さんのとんぼ玉を教えてもらわなければ今、姿はないのです。そんな感謝の気持ちで、今回のアルケ合宿には、妻と参加させてもらいました。科学の祭典にも、とんぼ玉で何度も参加しました。技術的にも少しずつ成長していきました。今回のとんぼ玉を参加者の皆さんにお渡しできたことは、これまでの感謝の気持ちです。どうぞ、快く気持ちよく受けてとってください。林さんの一言もうれしかったです。「アルケの中にも、だいぶとんぼ玉が浸透したね」ほんと、涙がでるほどうれしかったです。高橋さんに、いろいろ言葉をかけてもらっているのですが、妻の一言に還元されます。「文化を広めるために汗を流している。金もうけではない」初めて、無理矢理つれていった妻も「ああ、これがあなたの世界の一部だな」とわかってもらえたことがうれしいです。働くことができるのなら、どこまでも働きます。（教師という仕事を）化学的のことをあまりしていません。でも、アルケの

仲間がいることが私の安心感なのです。まだまだ、言いたいことはいっぱいありますが、少しアルコールまわって疲れてきたので、これで一端終わります。みなさん、お元気で。飛騨高山にぜひおいでください。待ってます。

人は自然に生かされ癒される　町井弘明

高橋さんの笑顔に誘われみんなも気持ちがなごみ、穏やかな思いやりのある交流ができました。

これも野外の包容力に影響されたと思います。人は自然に生かされ癒されていること少しは実感していただけたかなと思います。

あのあと一人で温泉に入り松本さんのところに伺いました。怪我は顔だけでことのほか元気そうでしたが、やはり合宿に参加できなかった寂しさ・無念さが少し感じられました。

またすっかり回復したら松本さんを囲む会をやりましょう。写真送ります。

夢のようなアルケキャンプ合宿　高橋匡之

「夢のようなアルケキャンプ合宿」から、もう２週間もたってしまいました。

野外での研究発表　そばうち　トンボ玉　そして　天体観測　実験　手品　など　大笑いしながらの本当に楽しいひとときを過ごさせていただきました。町井さん　準備ほんとうにご苦労様でした。そして、野中さん　ご夫婦には　トンボ玉の実演　ほんとうにありがとうございました。　ガスボンベの手配から　大変だったと思いますが、みなさんが実際に体験できて、楽しいひとときを過ごすことができました。私も、初めて作品をつくり、満足しています。妻は、野中さんがつくってくれた　トンボ玉があまり素晴らしいので私のはあまりほめてくれませんでした。でも、私は自分でつくったものを大事にしています。

杉原和孝さんから、写真が届いておりますので、アルケナイターと合宿の様子は、ぜひアルケ通信に載せたいなと思っております。

会員についてですが、2013 年度の会員 32 名は全員継続となりました。

そして、総会の場で、推薦があり、愛知の田中英二さん　岩手の菅原正志さんが新入会員と認められました。

総会後ですが、大場さんから「最近　数学しか担当していないので、メール会員となります。でも、アルケの合宿には参加します。」と申し出がありました。

※　メール会員とは、資料が送られてこない会員です。ですから会費を払わずに、このメールだけ参加する会員です。

総会後だったこともあり、メール通信で、みなさまにお知らせすることによって、諒解をいただきたいと思います。なにか　ご意見がありましたら、このメールにご意見を寄せて下さい。（メールでは藤田さんから諒解しましたと返事をいただきました。）

事務局は、今度で２回目になります。水沢商業高校時代ですから、今から２６年前です。そして、私が幹事役でかかわったアルケ合宿は、白馬村（２泊）、田沢湖、仙台、そして昨年の大船渡の合宿です。

初めて参加したのが、熊本大会後の水俣のフィールドワークとの合同合宿でした。（1982 年：「化学と教育ーその実践」が発行された年：熊本大会で発売された）いろいろな思い出がありますが、今回の町井キャンプ村の合宿は、これまでの合宿とはひと味もふた味も違う、合宿でした。野外の空気を胸一杯に吸い込むことだけで、身体が解放されるような気分を味わいました。

充分にリフレッシュできたアルケ合宿ですが、夏休み明けの授業はいかがですか。近況などを交流しあいましょう。